
聖夜

潤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聖夜

【Nコード】

N3090N

【作者名】

潤

【あらすじ】

クリスマス…。

久坂 宗次は一緒に過ごしたいと
永井 梨絵を誘っていた。
しかし断られ続けていた。
そしてクリスマスイブの夜。
サプライズが起こる。

「梨絵…。

クリスマスの夜。

俺はお前と過ごしたいんだ」

「無理だよ。

私達、ただの友達だよ？」

「そーかもしれないけどさ。

友達だから過ごしたいんだ！」

「無理だよ。

私の親、うるさいもの」

今、梨絵と呼ばれた人物は

永井 梨絵。

そして執拗に誘っているのは

久坂 宗次。

はい。

今何故こんな気まずい雰囲気になっているのか？

それは数時間前に戻る…。

—————

数時間前。

あふれる人ごみの中こんな会話が

久坂の耳に届いた。

「ねえねえこのイカリング、

クリスマスプレゼントに買って」

「それを言うならイヤリングだろ。

わかったよ、買ってやるよ」

「わーい、秀介だーいすき」

それは友人ー金田 秀介ーとその彼女の会話だった。

(クリスマスかあ…)

俺の梨絵への想いを伝えるには
うってつけのチャンスだよな…)

……………
そして今。

ちょうど久坂の想い人ー永井 梨絵ーを見つけ
クリスマスの夜一緒に過ごせないか?と
誘っていたのだ。

まー断られたが…。

……………

雪がちらほら降り出した。

そんな冬のある日。

…。

雪か…。

今年はホワイトクリスマスにでもなるのか?
などと久坂が考えていた。

……………

そしてクリスマスイブの夜。

ピンポン。

久坂の家に来客だ。

「はいー」

カチャ。

「メリークリスマス、宗次」

「え…どうして梨絵お前が…」

そう目の前にいたのは

先日しつこく誘ったのに

頑なに断り続けた永井だった。

「一緒にすごしたいんですよ?

すごしてあげるよ。」

「今日だけ特別にね」
「ありがとう。」
「好きだよ、梨絵」

(後書き)

とりあえず暑いんで涼しくならないかと思って
冬の小説書きました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3090n/>

聖夜

2010年10月10日05時34分発行